

購買

- 企画・開発、製造部門と連携し、使用する材料の安全性、環境性、および調達先の品質保証体制などを調査した後、購買品を選定しています。
- 調達先には「アキレス調達基本方針」の遵守を促すことで、企業の社会的責任（CSR）への取り組みをサプライチェーンに広めています。また調達活動においていかなる違反行為にも加担しません。

生産

- 製品ごとに生産ラインに適した工程管理と検査方法を定め、効率生産と品質安定化を推進しています。
- 地球環境への負荷低減を図るため、地球温暖化防止と省エネルギー、3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動や大気汚染防止などを推進しています。

- 製品の品質向上および技能レベル向上を目的に、全ての従業員に対し教育指導を実施しています。
- プロセスごとに品質保証部を交えたデザインレビューを実施しています。

販売・アフターサービス

- お客様からの当社製品・サービスへのご相談やお問い合わせは、販売担当部署でお受けする以外に「お客様相談室」でもお受けしています。いずれの窓口でも、お客様のお声に耳を傾け、迅速に対応するように努めています。
- 想定外の重大問題が予想される場合は、お客様の安全を第一に考え、情報開示と迅速な対応を行います。
- 環境対応設計製品に関しましては、お客様が類似他品との環境効果を容易に比較できるように努めています。

労働安全衛生・防火防災への取り組み

労働安全衛生の考え方とマネジメントシステム

アキレスグループ安全衛生方針

「安全の誓い」にうたわれている、「健康にして、安全の確立こそ、会社発展の源であり、私たちの明日への生活向上の基盤であります。私たちは、安全を確保し、人の和を築き、私たちの明日への活力を生み出すことを日々心新たに誓います。」のように、安全と健康の確保は事業活動の基本であり、安全で働きやすい職場環境を確保するために、次の事項を実施します。

1. 安全は全ての基本であり、アキレスグループ従業員一人ひとり、安全を全てに優先します。
2. 安全と心身の健康確保のため、全員参加で、安全衛生活動を積極的に推進します。
3. 安全衛生に関係する法令および会社方針・規則等を遵守します。
4. 安全衛生水準向上のため、労働安全衛生マネジメントシステム等を適切に活用し、継続的改善を図ります。
5. 日ごろより、5S（整理・清掃・整頓・清潔・躰）を欠かさず、安全で衛生的な職場環境を維持します。
6. 全ての従業員に対して、安全衛生の重要性を周知し、必要な教育・訓練を実施します。

主な安全衛生管理活動

安全衛生

当社では、各事業場で安全衛生委員会を開催し、従業員へは法・指針に基づいた安全衛生教育の実施、法に基づく各種有資格者の養成など、安全衛生体制を確立しています。また、作業・設備のリスクアセスメントを実施し、結果に基づく改善を行い、本質安全化を図っています。

フォークリフト運転業務従事者
安全衛生教育（足利工場）



●安全衛生委員会委員割合

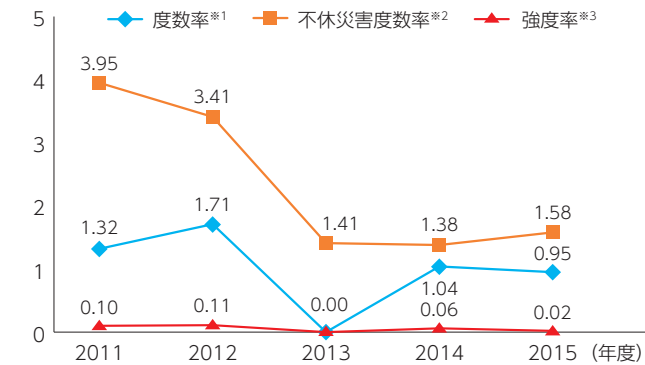
事業場	安全衛生委員 (人)	従業員数 (人)	従業員に対する 安全衛生委員 の割合(%)
本社	12	257	4.7
関西支社	6	59	10.2
北関東営業所 およびシューズ 物流センター 東日本物流課	8	91	8.8
足利第一工場	19	570	3.3
足利第二工場	16	271	5.9
滋賀第一工場	12	95	12.6
滋賀第二工場	14	113	12.4
合計	87	1,456	6.0

※2016年3月31日時点

労働災害の状況

2015年度の当社における労働災害の発生状況は、下記の通りです。2015年度のゴム製品製造業（従業員1,000人以上）の平均度数率0.40に対し、当社の度数率は0.95でした。また強度率は、ゴム製品製造業（従業員1,000人以上）の平均強度率0.03に対し、0.02でした。

●度数率・不労災害度数率・強度率(単体)



※1 度数率＝労働災害死傷者数÷延べ実労働時間数×1,000,000
 ※2 不労災害度数率＝不労災害者数÷延べ実労働時間数×1,000,000
 ※3 強度率＝延べ労働損失日数÷延べ実労働時間数×1,000

安全意識の啓発

当社では、安全への意識高揚のため、年間行事として年2回の安全祈願（年初と全国安全週間初日）を実施し、年間を通じて各種無災害運動（全国安全週間、年末年始、期末）、交通安全運動を実施しています。2015年度は足利・彦根警察署の協力により交通安全講話を実施しました。また社員が各自記入した「安全の誓い」を各職場に年初から掲示し、社員への安全意識の啓蒙を図っています。



出勤時の交通指導(足利工場)

健康管理

当社では、定期健康診断および特殊健康診断などを実施し、結果に応じて産業医などによる事後対応の指導を実施しています。健康診断結果以外にも社員の心と身体の悩みに対して、産業医・看護師によるメンタルヘルスケア、健康相談・指導を実施しています。また、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）推進活動として、各種健康増進イベントへの参加を促進しています。



健康づくり講演会(足利市)



メンタルヘルス研修(東京本社)



健康づくり実践教室(足利市)

防火・防災の考え方とマネジメントシステム

アキレスグループ防火・防災基本方針

防火・防災は企業の基本管理項目であり、火災発生や地震に代表される自然災害を被ると、それまでの状況が一変して会社存亡の危機に直面することがあります。また、地域住民に多大な迷惑をかけ社会公共の福祉の増進にも反します。

アキレスでは、日頃から緊急事態に備え、身体及び財産を保護する予防措置を講じ、災害発生を未然に防止すると共に、万一発生した場合の人的・物的被害を最小限に抑えることに努めています。

総合防火・防災訓練

当社では、各地区で防火・防災委員会を設け、各事業場においては、防火・防災意識の啓発・高揚および防火活動に関する技術の習得を目的とした、総合防火・防災訓練を毎年定期的に行っています（製造部門社内火災予防運動は年3回実施、本社・関西支社防災訓練は年1回実施）。

2015年10月には足利第一工場において、足利市消防署との連携で総合防災訓練を実施しました。訓練では、震度6強を想定した、初動対応、通報、避難、安否確認訓練などを実施しました。また足利市消防署レスキュー隊による救助訓練と煙体験訓練を実施しました。



足利第一工場での総合防災訓練

心肺蘇生法講習会

当社では2015年10月に足利地区で、2016年3月に滋賀地区で、各地区の消防署による心肺蘇生法（人工呼吸、心臓マッサージ、AED機器の取扱訓練）の講習会を行いました。

食料など備品の備蓄

当社の各事業場では、震災などの有事に備えた食料などの備品を備蓄しています。